

平成 28 年第 12 回名取市教育委員会定例会会議録

1 会議の年月日

平成 28 年 12 月 20 日（火）

2 会議の場所

市役所 5 階第 1 会議室

3 出席した者

教育長 瀧澤 信雄

教育長職務代行委員 武田 堆雄

教育委員 相原 芳市

教育委員 佐々木 靖子

教育委員 浅野 かおる

4 欠席した者

なし

5 説明のために出席した者

小野寺教育部長、及川理事兼学校教育課長、佐竹教育部次長兼生涯学習課長
佐藤庶務課長、大友文化・スポーツ課長、佐藤教育部企画員兼庶務課長補佐
高橋主幹兼庶務係長

6 議事日程

日程第 1 前回来議録の承認

日程第 2 会議録署名委員の指名

日程第 3 教育長報告

(1) 一般事務報告

(2) 行事予定

日程第 4 議事

議案第 35 号 不二が丘小学校東校舎を名取支援学校の分校として使用することについて

7 開会時刻

午後 3 時 30 分

8 会議の概要

瀧澤教育長

只今より、平成 28 年第 12 回名取市教育委員会定例会を開催いたします。

はじめに、日程第 1「前回来議録の承認」についてですが、前回の 11 月 25 日（金）に開催した第 11 回定例教育委員会会議録について、各委員の方々には配布済みかと思えます。この内容につきまして何かご質疑等ありませんか。

全委員

質疑なし。

瀧澤教育長

なければ、会議録につきましては承認といたします。

日程の第 2、本日の「会議録署名委員」ですが、武田委員と佐々木委員を指名しますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

日程第 3「教育長報告」に入ります。(1) 一般事務報告について教育部長より説明をお願ひします。部長よろしくお願ひいたします。

小野寺教育部長

それでは資料は 2 ページと 3 ページになります。

私の方からは 12 月 6 日から 16 日まで行われました 12 月定例市議会の関係についてご報告いたします。

まず、教育委員会関係の一般質問ですが、今回は 4 名の議員から 10 件の質問がありましたが、10 件全てが教育長答弁でした。

一般質問の内容は「感染性胃腸炎等の対策について」「高齢者及び障がい者を支えるネットワークづくりについて(小中学校での認知症サポーター養成講座の開催について)」「児童生徒の食育について」「公共施設の運用(文化会館)について」「学校の環境整備について」でございますが、これらの項目について適宜回答しております。その内容については、本日資料をお渡ししておりますので、後でご覧をいただきたいと思ひます。

また、前回 11 月の定例会にて承認いただいた 12 月補正予算及び、名取市文化会館、名取市民体育館及び十三塚公園有料公園施設の 2 件の指定管理者の指定につきましては、原案のとおり議決されております。

私からは以上です。後は各課からの報告となります。

瀧澤教育長

それでは、庶務課からお願ひいたします。

佐藤庶務課長

庶務課からは特にございません。

瀧澤教育長

学校教育課お願ひいたします。

及川理事兼学校教育課長

学校教育課からは特にございません。

瀧澤教育長

それでは生涯学習課お願ひいたします。

佐竹教育部次長兼生涯学習課長

生涯学習課からは 1 点ご報告させていただきます。

2 ページ 11 番になります。「なとり市民のつどい」を開催しました。佐藤育美氏による講演や公民館活動の紹介などを行い、アンケートでは盛りだくさんの内容に対して、好評の意見が多数寄せられました。来場者数は 350 人でした。

以上です。

瀧澤教育長

それでは文化・スポーツ課お願いいたします。

大友文化・スポーツ課長

2 点ご説明いたします。

行事予定にはございませんが、「第 18 回ふるさと名取の歴史展」が 11 月 2 日から 12 月 4 日までの 1 ヶ月間、文化会館 2 階展示ギャラリーを会場に開催されました。今回は平成 26 年度から引き続き地域をテーマに「おらほのお宝探し」の 3 年目として、増田、下増田地区を取り上げ、地域に守り伝えられた魅力的で個性的な歴史・文化について紹介いたしました。

なお、開催期間中約 1,600 名の方が来場されました。

文化・スポーツ課からは以上です。

瀧澤教育長

只今、部長並びに各課課長から行事報告をさせていただきました。各委員よりこの報告についてご質疑等がございましたらお願いします。

全委員

特になし。

瀧澤教育長

特にございませつか。行事報告については異議なしということで、承認としたいと思います。

それでは次、(2)の行事予定について説明をいたします。まず教育部長より説明をいたします。

小野寺教育部長

それでは、資料は 4 ページと 5 ページになります。私からは 31 番と 32 番にあります「不二が丘小学校東校舎を名取支援学校の分校として使用することに関する説明会」についてですが、この件に関しましては、本日提案しております議案第 35 号にて説明いたしますので、後ほどご審議をお願いいたします。

また、次回の定例会及び定例懇話会の日程等についても、後ほどの協議の際にお願いいたします。引き続き各課から報告をいたします。

瀧澤教育長

庶務課からお願いします。

佐藤庶務課長

庶務課からは 2 点ご説明申し上げます。

まず行事予定の4ページの1番です。明日12月21日(水)に「平成28年度第2回関上小中学校再建推進協議会」の開催を予定しております。内容といたしまして「学校説明会の概要」「校舎等改築工事の進捗状況」「教育計画作成委員会について」及び「校歌・校章の作成について」報告など行う予定にしています。

2点目は5ページの30番です。1月27日の金曜日に「平成28年度宮城県市町村教育委員・教育長研修会」の開催が予定されています。会場は仙台市青葉区錦町のホテル白萩で、開始時刻は午後1時からとなっております。この研修会の詳しいことにつきましては、後ほどの協議の「その他」の項目でご説明させていただきますのでよろしくお願いいたします。

庶務課からは以上でございます。

瀧澤教育長

それでは学校教育課お願いいたします。

及川理事兼学校教育課長

学校教育課から、2点お話しいたします。

1点目は5ページの28番「生徒指導問題対策委員会」についてです。この委員会は市内小中学校の校長、生徒指導担当教員の他、岩沼警察署をはじめPTAや関係機関の方々が委員となっております。生徒指導に係る問題について協議したり情報交換したりしています。今回は各学校の担当者も集まり拡大委員会として、「不登校」をテーマにして各学校の取り組み等を情報交換していく予定となっております。

もう1点は挿入のお願いでございます。同じ5ページ28番と29番の間に1月25日水曜日「第2回ブロック会議」を入れていただきたいと思っております。これは28年度末、29年度始めの人事異動について仙台教育事務所と名取市教育委員会、市内小中学校の校長先生方が話し合いをする場となっております。

以上です。

瀧澤教育長

それでは生涯学習課からお願いいたします。

佐竹教育部次長兼生涯学習課長

生涯学習課から、まずはすみませんが訂正をお願いいたします。

4ページ18番になります。「平成29年度」となっている成人式のところを、「平成29年」にお直しいただければと思います。

生涯学習課からは3点説明します。18番「平成29年名取市成人式」を挙ります。文化会館大ホールにて午前11時の開式になります。平成29年は市内在住該当者が768人、市外の式典参列希望者が52人です。例年の出席が7割程度なので、650人程の参列を見込んでおります。

次に23番になります。子ども読書活動推進事業のイベント「絵本作家 飯野和好さん講演会」を開催します。案内のパンフレットを用意してきました。ご都合がよければ参加願います。

27番になります。「公民館の将来像を考える市民ワークショップ」を1月から3月までの期間で13回開催します。各地区対象のワークショップが2回、地区ごとのワークショップが11回となります。このワークショップで、地区にとっての必要な公民館等のご意見を集

約したいと考えております。お手元に「地域にとって必要な公民館とは」ということで、ワークショップのご案内を配布しております。ぜひ参加していただければと思います。
以上です。

瀧澤教育長

続きまして、文化・スポーツ課お願いします。

大友文化・スポーツ課長

文化・スポーツ課からは特にございませぬ。

瀧澤教育長

それでは、部長並びに各課長から行事予定について説明のありました内容について、各委員からご質疑等はありませんか。

全委員

特になし。

瀧澤教育長

なければ、日程第3(2)行事予定については原案のとおり承認としてよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

瀧澤教育長

異議なしということで、行事予定につきましては、原案のとおり承認といたします。

それでは次に、日程第4、議事に入りたいと思います。議案第35号「不二が丘小学校東校舎を名取支援学校の分校として使用することについて」を議題としたいと思います。

まず教育部長より説明いたします。

小野寺教育部長

それでは、議案第35号ですが資料では6ページと7ページ、それから不二が丘小学校の教室の配置図になります。

本案につきましては、宮城県教育庁特別支援教育室から高館地区にある名取支援学校の児童生徒の増加に伴う教室不足の解消を図るため、不二が丘小学校東校舎を名取支援学校の分校として活用させてもらいたい旨の依頼があったことから、不二が丘小学校東校舎を宮城県教育委員会に使用させることについてご審議いただくものであります。

現在、不二が丘小学校東校舎につきましては、閑上小学校として使用しているところではありますが、平成30年4月の閑上小中学校開校に伴い東校舎から引っ越すこととなりますので、その後、宮城県に使用させることについて支障はないものと考えております。

また、県内においても既に富谷市の富ヶ丘小学校の空き教室を分教室として活用している状況であり、本市としても特別支援教育を必要とする子ども達の環境整備の充実は重要なものと捉えているところであります。

先ほど、行事予定のところでも触れましたが、今後のスケジュールにつきましては、1月29

日の午後2時、1月30日の午後7時から、何れも会場は名取が丘公民館ホールとなりますが、不二が丘小学校の保護者及び地区住民に対する説明会を2回実施することとしております。

実際に分校として使用するまでには、校舎の一部改修が必要となることから、開校は平成31年4月になる見込みとなっております。

教室配置図ですが、赤色と黄色の部分が現在閑上小学校で使用している教室で、緑色の部分が共用スペースになります。名取支援学校が分校として使用する場合は、東校舎の1階から3階を想定しております。

以上が私からの説明になります。

瀧澤教育長

それでは私の方から少し補足して説明を続けたいと思います。只今、部長から説明がありましたが、特別支援教育室からの資料7ページにあるように、依頼がありました。教育委員の皆さんにも依頼がきていることはお伝えをしていますが、その後不二が丘小学校の校長、市長部局ともいろいろ意見交換をする中で、教育委員会としてこの申し入れを受け入れる方向で考えていくということで、今まで対応してきたところでございます。

これを受け入れる理由といたしましてはいくつかございますが、部長からもありましたように、特別支援教育を行うための教育環境の整備は、非常に重要なことであるということが1点でございます。

それから特別支援学校の児童生徒数の増加という資料もありましたが、そこに名取支援学校の資料もございます。平成18年度は190名で、平成28年度には227名となり、120%の増加となりますが、この内名取市在住の児童生徒が62名程いるということです。3分の1まではいきませんが、かなり多くの名取の子ども達が支援学校でお世話になっている状況になります。

それから、県からの資料の「分校設置の効果」の(2)のところに「共生社会の実現を目指した障害児に対する理解・促進」とありますが、これはただ単にお願いされたから受け入れるということではなくて、名取市の小中学校に通っている児童、生徒にとっても障害がある子供達への理解、あるいは共生社会、インクルーシブ教育という考え方も最近は大分強調されております。そのような考え方を子どものうちから育ていくことも非常に大事なことでないかなと考えております。

また、不二が丘小学校の教育活動に今後大きな支障が出るということであれば考えなければならぬと思いますが、先ほどの図面にもありますように平成30年の3月をもって閑上小中学校が現地に開校となれば、この赤と黄色い部分は全て不二が丘小学校で使用可能なスペースとなりますので、仮に支援学校に提供したとしても不二が丘小学校で教育活動を行っていく上では支障はないと考えております。

また、不二が丘小学校の今後の児童数の見込みですが、数年後には全て1学級になる見込みとなっております。そうしたことも考えると、不二が丘小学校の東校舎を分校として使っていただくことに支障はないと思います。

このような考えの中から前向きに考えていきたいと思っております。1月末には保護者、地域住民の方に説明会等行いまして、できればその方向で進めたいと思います。

それでは、議案第35号「不二が丘小学校東校舎を名取支援学校の分校として使用することについて」についてご質疑等ございますか。

相原委員

はい。

瀧澤教育長

どうぞ。

相原委員

県ではこの支援学校を将来的にはどうしようとしているのでしょうか。

例えば健常児が通っている各学校に分散しながら、先程のインクルーシブ教育等メリットがあるので、将来的には特別支援学級と普通学級を閉上小・中学校の様に、一貫校的なものにしようと考えているのか、単に教室を借りたいから各学校に分散しようということなのか、その辺の県の方針がわかりません。単に、今手狭であるから将来建てるまでの間使わせてほしいというのか、それともずっと使用をお願いしたいのかよくわかりません。

瀧澤教育長

県の特別支援教育、障害児教育の将来構想などを見ますと、将来的に普通の小中学校に今回のケースのように拡大していき、健常児も障害児も共に学ぶ形を目指すところまでは考えていないようです。基本的には支援学校の充実を図っていくということで、最近県内でもいくつか支援学校が新設されたり、岩沼の高等学園のようなものが女川町にできたり、川崎町に分校ができるなど新しく設置することも進めているようです。

それでも狭隘化が解消されないということで、先程ありました富谷市の富ヶ丘小学校、平成 29 年 4 月からは塩竈市の第二小学校にも支援学校の分校を設置したいという考え方のようです。

ただ将来、支援学校が新たにできるまでの限定的なものなのかということまでは、はっきりお話しはいただけないところです。特別支援教育の考え方として宮城県ではそこまで到っていませんが、現在、知的障害の子ども達を教育する支援学校、あと聴覚支援、視覚支援と分かれているのを将来的には全ての障害児をどこの支援学校でも指導できるようにするという方向性はあるようです。

インクルーシブ教育ということが言われていますが、全ての通常の小中学校と一緒に場所で学習するというところまでは具体的に方針はないのではないかと思います。

すみません、はっきりした県の考え方は把握していないところがあります。

武田教育長職務代行委員

今のことと関連があるのですが、来年の 1 月 29 日と 30 日の 2 日間にわたり、地域の方に説明会があり、集まる人は一般の人や地域の役職についている方達だと思うのですが、説明の仕方としては、資料の 6 ページにあるように使用させることを許可するとありますので、教育委員会で話し合い了解すれば、教育委員会が地域の方達に説明するという形でしょうか。

瀧澤教育長

説明の中心は県の特別支援教育室の方になります。

武田教育長職務代行委員

県の意向やこれからの将来像も含めて、1 月 29 日と 30 日に県の特別支援教育室の方が説明会に来られて直接説明をされるのでしょうか。

瀧澤教育長

今までの塩竈市や富谷市でも同じようにしていたということですが、説明の中心は県の特別支援教育室が行い、具体的にどういう形の教育をやろうとしているかについて説明し、質疑に関しても主として県が対応します。ただ、当然名取市でも教育委員会として顔を出しますが、このような申し入れがあり受け入れたいということは、私の方からも挨拶でお話ししますが、具体的な説明は県にさせていただきます。

武田教育長職務代行委員

資料 6 ページにこのことについて、「不二が丘小学校東校舎を名取支援学校の分校として宮城県教育委員会に使用させることを許可する」とありますが、これは教育委員会の会議の中で使用することを認めるということになります。県から 2 日間説明はしますが、一応教育委員会では許可したことを皆さんに認めていただく説明会ということによろしいのでしょうか。

瀧澤教育長

保護者や地域の方に 29 日と 30 日の説明会の案内をする予定ですが、案内の文面としては教育長名で、県よりこのような依頼があり名取市としては受け入れることで考えていきたい、については県の担当者が来て具体的な説明会をするのでお越しく下さいという案内を差し上げたい。

武田教育長職務代行委員

あくまでも名取市の教育委員会として皆さんに説明をして認めていただく会議ということですよ。

瀧澤教育長

地域の方にいかがでしょうかと問いかける会議ではありません。

武田教育長職務代行委員

そうですね。結論はもうあるので。その辺のところの話の難しさというのはあるのかと。

瀧澤教育長

当然、質問の中で名取市教育委員会ではどう考えているか、どう対応するのは名取市で答えなければならないと思いますが、例えば支援学校にはどのような子どもが学ぶのか、交流はどうなるのか等、そのような支援学校の教育内容については県で受け答えをしていただくようになると思います。県の方で説明するので会場だけお貸ししますということではありません。私の名前で案内を出して集まっていたいて、県から具体的な説明をしていただくということになります。

武田教育長職務代行委員

わかりました。

瀧澤教育長

それでは、他にご質疑等ございますか。

全委員

特になし。

瀧澤教育長

なければ議案第 35 号「不二が丘小学校東校舎を名取支援学校の分校として使用することについて」は、原案のとおり承認としてよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

瀧澤教育長

それでは、議案第 35 号「不二が丘小学校東校舎を名取支援学校の分校として使用することについて」は異議なしと認め、原案のとおり承認したいと思います。

ありがとうございました。

瀧澤教育長

では本日の議案については以上であります。

以上で本日の会議を終了いたします。

午後 4 時 10 分

以上会議の顛末を記録し、正当なることを証するため、ここに署名する。

平成 29 年 1 月 23 日

署名委員 _____

署名委員 _____